

第26回

日本未病システム学会学術総会 抄録集

THE 26TH CONGRESS OF THE JAPAN MIBYOU SYSTEM ASSOCIATION



テーマ

人生100年時代の未病科学

会期 2019年11月16日(土)・17日(日)

会場 今池ガスビル (名古屋市)

会長 下方 浩史 (名古屋学芸大学健康・栄養研究所 所長)



枸杞子を主とした健康飲料の終末糖化産物蓄積に及ぼす影響

○横溝 和美¹、周 建融¹、國香 清²

¹ 崇城大学 薬学部、² 国際漢方研究所 医療学術部門

【目的】枸杞子を主とした健康飲料LLA (*Ligustrum lucidum* ait) は、枸杞子にサンザシ、余甘子、鹿角霊芝、大棗、ヨクイニン、菊花を配合した健康飲料である。我々は、老化マウスにおけるLLAの抗疲労効果、冷えの改善効果、免疫賦活化効果、腸内フローラバランス改善効果等を明らかにしてきた。また、LLAは抗酸化活性を有し、メラニン形成阻害活性、ヒアルロニダーゼ活性阻害やエストロゲン様作用をもつことを明らかにした。これらの効果をもつLLAは、愛用者の経験談から判断すると長期の服用によって未病あるいは疾病の状態にある体の機能を改善すると考えられる。そこで今回、LLA愛用者の健康度を解析する試みとして、終末糖化産物 (AGEs) を簡便に測定できる装置を用いてLLAの抗AGEs蓄積効果を検討した。

【方法】AGEs測定には、AGEsセンサ (RQ-1101J-SET) (シャープライフサイエンス (株) 製) を使用した。(株) 国際友好交易の協力のもと、40~90歳のLLA愛用者66名と40~70歳のLLA非愛用者9名を対象に、事前にAGEs測定とアンケート (年齢、身長、体重、LLA飲料期間) の主旨を説明し、承諾と同意を得た。

【結果】健常者の年齢別データ (シャープライフサイエンス (株)) と比較すると、LLA飲用者のAGEs値はやや低い傾向を示し、年齢に伴いAGEs値は増加した。LLAの飲用者と非飲用者を比較すると各年代別のAGEs値は飲用者の方が低かったが、有意差はなかった。LLA飲用者のAGEs平均値は 0.38 ± 0.09 、非飲用者のAGEs平均値は 0.46 ± 0.09 を示し、有意にLLA飲用者の方が低かった ($p < 0.05$)。また、LLA飲料期間が長い方が、AGEs値は低い傾向を示した。

【考察】AGEsは体内の過剰な糖と生体のタンパク質が結合した化合物であり、加齢に伴ってしだいに蓄積されるが、不規則な食生活や生活習慣、運動不足、糖尿病などの疾患により、急激に増加していく。健康飲料LLAは、その抗酸化作用等により加齢によるAGEs蓄積度を軽減すると考えられた。